

参考文献の書き方

なまえ

資料の種類	正式な書き方	津和野小での略式な書き方
図書	著者名「書名」出版社，出版年，ページ	ブックリストの資料番号，ページ
ウェブサイト	サイトの作成した人・団体名「ページのタイトル」『トップページタイトル』URL，調べた年月日	団体名「ページまたはトップページのタイトル」調べた日にち
写真	撮影者名，撮影場所，撮影日	撮影した人の名前，撮影した日付
インタビュー	インタビューした人の名前，インタビューした年月日	左に同じ
新聞	著者名「見出し（記事名）」，『新聞名』発行日（朝・夕刊）， 面	『新聞名』発行日

※このほかにも、雑誌・論文・データベースなどによって、それぞれ書き方があります。

## まとめ方のコツ

- ・自分の意見と人の意見を区別して書く。
- ・人の意見を書くときは、「            」をつけて、載っていた本（サイト）の情報も書いておく。
- ・引用は、全体の2割くらいまで。
- ・文章だけでなく、図や写真・イラストを入れる、表にしてまとめる、番号をつけるなどをして、読み手がわかりやすくなるよう工夫する。
- ・最後に、調べた結果わかったことや考えたこと、新たな疑問や課題、これから取り組みたいことなどを書いておくとよい。

## 要約のしかた

- ・「要約」とは・・・自分が大事だな、使いたいなと思う文を自分のことばでまとめること

（例）森鷗外の出身地はどこか。

Aの資料「森鷗外は、島根県出身である」

Bの資料「津和野町町田で生まれた森鷗外は、(以下略)」

Cの資料「石見国津和野(現：島根県津和野町)出身。(中略) 1862年2月17日(文久2年1月19日)、石見国鹿足郡津和野町田村(現・島根県津和野町町田)で生まれた」



自分なりに、まとめる = 「要約」する

自分でまとめて書いてみましょう。

ポイント①島根県だけでは不十分である。  
ポイント②津和野町だけでは何県なのかがわからない。  
ポイント③調べたいのは、出身地なので、生まれた日にちはいらない。

参考にした本：